

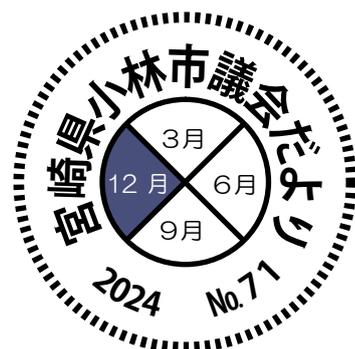
はなみずき

「はなみずき」の花言葉には「私の想いを受けとめてください」という意味があります。また、小林市にあられる「花・水・木」など、いろいろな思いが込められています。



小林市朗読友の会の皆さん
(松嶺議員のイチオシ!!より)

- 委員会審査報告／議会傍聴 …… P 2～
- 表決結果一覧／討論 …… P 4～
- これ、知っちゃった?
「こぼカフェ2024」を開催しました …… P 6～
- 一般質問 …… P 8～
- 語り継ぐ小林の歴史 …… P 15
- 松嶺 勇一 議員のイチオシ!! …… 裏表紙



令和7年2月1日発行

市民厚生 委員会

◆高齢者施設等の非常時に備えを

認知症高齢者グループホーム及び小規模多機能型居宅介護事業所の非常用自家発電設備の整備に要する経費を補助するもの。

- Q 各施設に対する当該補助の周知期間は。
- A 国への事業計画書の締切を考慮し、約3週間とした。

◆子どもの居場所づくり

中央児童センター及び西小林児童センターを来年度から市の直営方式で管理運営する。

- Q 利用者が減少した要因は。
- A 地域の子育て支援環境の整備や社会情勢の変化により、子どもたちの居場所が多種多様化していることが主な要因と考えている。

◆委員からの意見◆

利用者に不便が生じないよう、適切な管理運営に努められたい。



中央児童センター



西小林児童センター

請願第3号 加齢性難聴者の補聴器購入助成制度の新設を求める請願

【委員会での審査の結果】

制度創設への思いは理解できるが、加齢による身体機能の低下は聴力だけにとどまらず、その公平性の観点から加齢性難聴のみを対象とした制度創設は難しいものとするなどの意見があり、採決の結果、賛成少数で不採択

請願第4号 精神障がい者の医療費助成を求める請願

【委員会での審査の結果】

今後も慎重審査を要するとの意見があり、採決の結果、賛成多数で継続審査

◆須木ふるさとセンターの空調

本年9月にセンター1階の研修室及び社会福祉協議会須木支所の空調設備が故障したため、据置式の空調設備に取り替えるもの。

- Q 故障後の状況は。
- A 高温時に冷房の効きが悪いときは、1階ロビーに扇風機を設置し、両室に冷風を送り込むことで対応した。

◆通信ネットワークの調査

G I G A スクール構想が目指す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実には、高速通信ネットワークが不可欠で、市内6校の調査を実施するもの。



- Q 現在のネットワーク環境は。
- A 月1回のアップデートの際には、通信速度が遅くなる。今後支障が出る可能性があるため、当該事業を行うものである。

◆持続可能な農業実現のために

多様な人材が働きやすい環境づくりに向けた取組に係る宿泊施設等の改修費の一部を県から市が受け入れ、市を通して農業法人へ補助するもの。

- Q 海外からの就労者も含まれるのか。
- A 多様な人材の参画が事業の目的であり含まれる。

◆畜産の担い手育成

地域ぐるみの担い手育成事業として牛舎建築等に取り組んでいるが、建築資材等の高騰、地盤改良に係る経費及び追加工事が発生したため、その費用を市が宮崎県農業振興公社に負担金として支払い、農家から同額を分担金として徴収するもの。

- Q 当初見積では見込めなかったのか
- A 工事を進める中で新たに発生した費用と農家の要望による追加の費用が必要となった

総務文教 委員会

12月定例会では次の議案13件を委員会に付託し審査しました。また、開会日までに提出のあった請願2件について、市民厚生委員会に付託し審査しました。

- 一般会計、特別会計 4件
- 条例改正・廃止 2件
- 指定管理者の指定 7件

なお、一般会計補正予算(第8号)の主なものは次のとおりです。

- 高齢者施設等の非常用自家発電設備の整備に要する経費 6954万円
- 市役所通線の整備に伴う建物補償費 1050万円
- 市内小中学校のネットワークの課題の把握や調査に要する費用 209万円

経済産業 委員会



議会傍聴

11月28日に小林こすもす支援学校高等部の生徒21名の皆さんが議会傍聴に来てくれました。傍聴の感想文をQRコードから読むことができます。



11月28日
←感想文

議案番号	議案名	表決結果
その他 議案 90～96	指定管理者の指定 ・バイオマスセンター ・市営牧場 ・野尻町総合交流ターミナル ・野尻湖多目的広場 ・出の山淡水魚水族館及び出の山名水ホテル広場 ・野尻町高齢者活動促進施設 ・野尻町有機センター	原案可決
人事案件 議案 97 ～115	農業委員会の委員の任命【12月5日採決】 ・瀬戸山 博好（せとやまひろよし）氏 ・上飯屋 博（うえかりやひろし）氏 ・田原 尚紀（たわらなおき）氏 ・新田 敏文（しんでんとしふみ）氏 ・小島 利春（こばたとしはる）氏 ・谷之木 信弘（たにのきのぶひろ）氏 ・大部 実男（だいぶじつお）氏 ・大山 竹子（おおやまたけこ）氏 ・下沖 秀人（しもおきひでと）氏 ・種子田 勝（たねだまさる）氏 ・高田 春男（たかだはるお）氏 ・河野 雄二（かわのゆうじ）氏 ・池井 周造（いけいしゅうぞう）氏 ・棚橋 道夫（たなはしみちお）氏 ・石川 文男（いしかわふみお）氏 ・吉村 昭生（よしむらあきお）氏 ・長瀬 茂弘（ながせしげひろ）氏 ・松田 まり子（まつだまりこ）氏 ・東原 安雄（ひがしはるやすお）氏	同意
R5 決算 議案 66	水道事業会計決算の認定 ※継続審査を申し出た委員長報告に対する表決	継続審査
陳情 陳情 1	小林市議会議員定数等の見直しを求める陳情 ※継続審査を申し出た委員長報告に対する表決	継続審査

徹底討論

請願第3号 加齢性難聴者の補聴器購入助成制度の新設を求める請願

賛成討論

橋本 律子 議員

市民厚生委員会を傍聴したが、不採択の理由が「財源」「疾病との平等性」など、市長の言い分と同じだった。そもそも財源など具体的に考えるのは当局の仕事。議員は多数の市民の声（2349筆の署名）の代弁者であるべき。

大迫 みどり 議員

加齢性難聴になると社会参加がしづらく孤独や孤立の問題を抱える。補聴器の利用は認知機能・生活の改善につながる。誰もが年齢を重ねれば聞こえが悪くなり生活に支障を来す。補聴器を購入しやすいように制度の創設を。

能勢 誠 議員

「勝手耳とは言われたくない」。聞こえづらさは、家族や友人との会話を減らし、孤立や認知症リスクを高める。しかし、補聴器は高額で手が届かない方も多いのが現状。生活の質と尊厳を守るため、請願に賛成する。

前田 隆博 議員

経済的な負担軽減のため、一部助成を求めるもの。補聴器は高額で、補助があれば購入を諦めている方々の新たな一歩を踏み出すきっかけになり、個人だけでなく地域全体の活性化にもつながる。高齢者の生活の質を守る。

反対討論

原 勝信 議員

国に対し早急な公的補助制度の創設を強く願う。難聴以外の疾患との平等性を図る必要性や、新年度の予算方針がマイナス10%シーリングで本市で取り組める状況にあるか、公益性及び公平性の観点と財政状況からの判断を強く求める。

12月定例会の録画配信ページはこちらから▶



◎議案の内容はこちら▶

開会日提出議案



12月16日追加議案



令和6年第6回定例会 表決結果一覧

(令和6年11月26日～12月16日)

◆表決の分かれた議案◆

議案番号	議案名	堀研二郎	小川真	能勢誠	野田利典	松嶺勇一	橋本律子	永野雅己	金松勲	有木将吾	押領司剛	前田隆博	貴嶋憲太郎	竹内龍一郎	舞田重治	吉藤洋子	原勝信	鎌田豊数	大迫みどり	高野良文	表決結果	
請願 請願 3	加齢性難聴者の補聴器購入助成制度の新設を求める請願	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	○	●	○	●	-	●	●	○	●	○	不採択
請願 4	精神障がい者の医療費助成を求める請願 ※継続審査を申し出た委員長報告に対する表決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	継続審査

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 除：法律により採決に加入されない者 -：議長は表決には加わらないため

◆全会一致の議案◆

議案番号	議案名	表決結果
報告案件 報告 2	専決処分の承認を求めることについて【12月5日採決】 第50回衆議院議員総選挙に係る経費について、一般会計予算の補正を行ったもの	承認
R6 補正予算 議案 84	一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議案 85	国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案 86	介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案 87	後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案 116	【12月16日追加議案】 一般会計補正予算（第9号）	原案可決
議案 117	【12月16日追加議案】 国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案 118	【12月16日追加議案】 西諸地域介護認定審査事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案 119	【12月16日追加議案】 介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案 120	【12月16日追加議案】 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案 121	【12月16日追加議案】 水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案 122	【12月16日追加議案】 下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案 123	【12月16日追加議案】 農業集落排水事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案 124	【12月16日追加議案】 病院事業会計補正予算（第3号）	原案可決
条例関係 議案 88	公の施設に関する条例の一部改正 小林市児童センターの管理運営の方法を見直すための改正	原案可決
議案 89	シルバーランド望峰の里の設置及び管理に関する条例の廃止 公の施設としての用途を廃止し、業務及び財産を現指定管理者に移譲するため、条例を廃止するもの	原案可決
議案 125	【12月16日追加議案】 一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	原案可決
議案 126	【12月16日追加議案】 常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決
議案 127	【12月16日追加議案】 病院事業管理者の給与等に関する条例の一部改正	原案可決
議案 128	【12月16日追加議案】 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	原案可決
議案 129	【12月16日追加議案】 病院企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	原案可決



10月23日(水)
須木中校区：ふるさとセンター
参加者数：19名



10月21日(月)
西小林中校区：西小林地区公民館
参加者数：21名



10月15日(火)
小林中校区：中央公民館
参加者数：14名



10月15日(火)
野尻中校区：
いきいきコミュニティセンター
参加者数：9名



10月24日(木)
細野中校区：南部いろり村
参加者数：5名



10月25日(金)
紙屋中校区：やすらぎ荘
参加者数：14名



10月24日(木)
永久津中校区：永久津小学校
参加者数：12名



10月17日(木)
三松中校区：内侍塚農村環境改善センター
参加者数：13名



10月16日(水)
東方中校区：東方研修館
参加者数：18名

- 【市民からのご意見(抜粋)】
- ・高齢者の移動手段確保
 - ・ごみ分別の高齢者の負担軽減
 - ・子育て家族対策としての放課後児童クラブの充実
 - ・道路の安全対策
 - ・防犯灯の設置ルールのあいまいさ
 - ・災害時の避難所の毛布などの備品
 - ・子どもを中心とした祭りや地域行事の企画
- などについてご意見がありました。

小林をより住みやすく、より元気にするため、今年度も市民の皆さんとの意見交換会「こばカフェ」を開催しました。

10月15日～25日の間で、市内9地区に分れて開催し、延べ125名の皆さんに参加いただきました。

貴重なご意見をたくさんいただきましたので、その一部と意見交換会の様子をご紹介します。

こばカフェ2024
を開催しました

終了後のアンケートで「小林市の将来に向けて現状や課題について共有してアイデアを自由に語れて良かった。」
「それぞれの世代から色々な考え、意見が出て良かった。」
「地域の問題を再認識できた。」
「参加して良かった」とのご意見をたくさんいただきました。

また、「こばカフェ」について、
「もっと多くの人が参加できるように工夫してほしい。」
「年に数回開催してほしい。」
「出された意見が市政に反映されることを期待する。」
との声もありました。

今回の意見交換会での市民意見がどのように生かされているのか、市民の方々に見えるよう、今後の広報活動に努めるとともに、次回の開催に向けて、よりよい参加者募集の方法や実施方法を検討していきます。



▲実施報告書



▲各会場の様子(動画)

意見交換会で出された意見は、広報広聴委員会において各会場の担当議員からの報告書を受け、関連する委員会ごとに割り振りを行いました。

そして、各委員会において、ご意見の内容を精査し、集約・分析・整理を行ったところです。

特に市民の方から意見の多かった公共交通の問題やごみ処理の在り方については議員間で討議を行うテーマに設定し、政策提言につなげていけるよう、今後議論を重ねていく所存です。

その他のご意見についても、委員会審査等の議会活動に生かしていきます。

詳細な内容については、左のQRコードの報告書をご覧ください。

認定農業者の育成支援

問 現在の取組内容は、経営所得安定対策をはじめ、農業後継者や新規就農者支援、担い手育成・確保に取り組んできた。毎年20名程度の方が就農され、小林市総合計画に掲げる目標値を上回っていることから、支援ができていくものと考えている。

答 認定農業者の育成は、農業経営改善支援推進指導員2名を配置し、農業経営及び技術全般に関する指導や支援を行っている。

問 農業後継者に意欲を持ってもらうための研修会等の実施状況は。

答 認定農業者会が支援し、全国農業担い手サミットへの参加や役員による研修、支部ごとの研修等を行っている。

農業振興の現状は



創生こばやし
舞田重治 議員



コ
チ
ラ
ク
は



新規就農者の育成支援を

問 地域計画策定の進捗状況は。

答 令和7年3月末までに40地区を策定する予定で、現在33地区で地域の話し合いを実施しており、残りの地区も令和6年12月末までには実施する予定である。また、10年後の策定地回は今年度末までに作成する。

問 地域農業の将来を見据えての農家基本台帳作成は。

答 計画を策定した地域を対象に、後継者の有無や今後の耕作などの意向を確認できるアンケートを実施する予定である。

市運動施設の管理状況

問 運動施設の環境整備と施設の現状、維持管理は。

答 公共施設の計画的な修繕、更新・集約化等によるマネジメントを推進し、負担軽減、平準化の推進をミッションに、計画的な維持管理として市民が安心安全に利用できるような老朽化した公共施設の維持管理に努めている。

問 市民体育館正面玄関の階段には手すりがない。また、1段目と2段目、3段目の高さが違う。今後手すりの設置を行う予定は。

答 高齢者等には玄関左側のスロープを案内している。建設から50年経過しているが、これまで手すりの要望はなかった。引き続き安全性や利便性の向上に努めていく。

問 三ヶ野山運動広場のベン



北霧島政新会
野田利典 議員



コ
チ
ラ
ク
は



公共の運動施設

※一般質問後、手すりが設置されました。

チは、以前の台風で屋根が飛ばされた状態である。修繕の予定は。

答 一塁側のベンチに屋根がないため、簡易テントを2張り倉庫に準備し、利用者にはそれに対応してもらっている。スポーツ少年団の利用は無料であることから、保護者が率先して整備してくださっている。今後も利用される団体と協議しながら整備していく。

須木運動広場の整備を

問 須木運動広場（須木グラウンド）は、土日は主に少年野球チームが、平日はグラウンドゴルフなどで利用されているが、デコボコが多く見られ、利用者のけがや事故につながるが、腐敗、金具で補強されているなど、大変危険な状況にあり、老朽化している。早急に整備できないか。

答 バックネットについては利用者から要望があり、優先的にネットの損傷部分の修繕を行い、安全面の確保に努めたところで、支柱の部分は業者に対応を依頼している。グラウンドは利用団体による整備が行われる予定で、その際に砂土等を市が供給して共同で対応する。



創生こばやし
かねまついさお
金松 勲 議員



コ
チ
ラ
ク
は



野球バックネット支柱の状況

問 市内小・中学校のトイレの洋式化率は。

答 小・中学校の児童生徒が日常的に使用するトイレは、男女とも、1か所のトイレに1基以上の洋式トイレを全ての学校において設置している。トイレ箇所数に対する洋式化率は、小・中学校合わせて、70・9%。体育館や外のトイレなど、残りは財源を確保しながら進めていく。

学校トイレの整備状況

市内小・中学校のトイレの洋式化率は。

小・中学校の児童生徒が日常的に使用するトイレは、男女とも、1か所のトイレに1基以上の洋式トイレを全ての学校において設置している。トイレ箇所数に対する洋式化率は、小・中学校合わせて、70・9%。体育館や外のトイレなど、残りは財源を確保しながら進めていく。

一般質問

市民の声を市政へお届け



質問席

問
答
意
見

議員が日ごろの議員活動を通して疑問に感じていることや改めたいこと、実現すべきことについて質問・提案し、市長・部長等が答弁します。
12月定例会では13人の議員が質問しました。
※一般質問者の各QRコードから、録画配信をYouTube（ユーチューブ）でご覧いただくことができます。



あとは市長の英断だけ

補聴器購入に助成を

問 難聴者が自立して生活するには補聴器が必要。しかしあまりに高額な補聴器を買える人と買えない人がいる。市から助成はできないか。

答 国に対して公的補助制度の創設を要望している。

問 令和6年2月以降に補聴器購入助成自治体は1-4も増えている。どう思うか。

答 増えているなと思うし、必要な部分だと思う。国に支援を要望していく。

問 その後、「勉強と検討」は進んでいるか。

答 9月に「補聴器購入助成を求める会」から要望が出され、現状把握や事例の調査研究を行った。

問 以前示したとおり、補聴器購入助成にかかる費用は年



にほんきょうさんとう
日本共産党
はしもと りつこ
橋本 律子 議員



☞詳しくは
こちら

さらに住みよい小林に

買い物困難地域の解消を

問 本市の高齢化率が40%近くになり、運転免許証の返納等で移動手段の確保が課題となっているが、市はどう認識しているか。

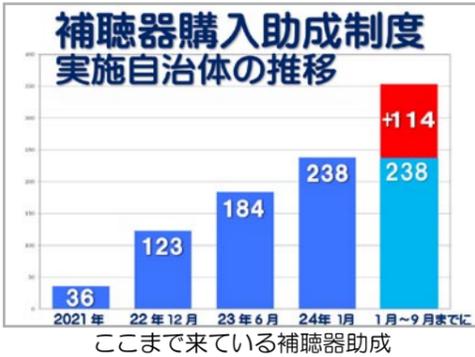
答 近年地元スーパーなどの閉店、撤退が相次いでいる。須木地区では、すぎ商工会に宅配サービス事業費補助金を交付し、買物が困難な住民の利便性の向上を図っている。野尻地区では、2事業所が移動販売の事業を実施しており、1事業所は小林地区の東方地区と永久津地区も巡回している。このほか、各団体が有償助け合い事業や買物付添い、買物代行等を実施している。また、市は事業所支援として、金融機関と連携し



きたきりしませいしんかい
北霧島政新会
たかの ましふみ
高野 良文 議員



☞詳しくは
こちら



額で約300万円程度。財源はないことはないと思うが、財源問題以外で導入をためらう理由があるのか。

答 財源、お金がないからと言った覚えはない。他の疾患との平等性を図る必要があるということである。

意 同じ難聴者でありながらお金の異なるなど、聞こえを取り戻す人とあきらめる人がいる。それこそ不平等ではないか。制度創設を求める請願書の署名2300人超の声に応える、市長の英断を望む。



佐賀県武雄市のお結び課のパンフ

た特別融資制度の運用等の支援を行っている。

出合い支援

問 出合い・お見合いイベントの効果と今後の計画は。

答 各イベントで複数のカップルが成立しており、参加者の出合いにつながっている。また、イベント後のアンケートでは市の観光地や食に関する感想も多くあり、出合いの部分以外にも波及効果がある。引き続き、民間の力を借りながら進めていきたい。

意 佐賀県武雄市では、お結び課を設け、市が出合いの場づくりにより直接取り組みしている。本市での実現を提案する。

新体育館建設に向けて

健康のまちづくり拠点施設

問 令和8年3月の開設であるが、担当課の人員配置は。

答 業務あつての人員配置が前提。拠点施設で担当する業務の詳細が固まってから具体的な検討に入る。拠点施設に限らず、あらゆる分野において効果的で効率的に事業を執行できる体制となるよう配置していく。

問 ワーキンググループの協議の進捗状況は。

答 6つの部会を設置し、協議を続けている。令和6年12月下旬には一つの方針を決定する。

問 施設内の案内表示は。

答 利用者が分かりやすい案内表示をしていく。

問 拠点施設の名称は。

答 部会でネーミングライツ



りっしんかい
立憲民主党
たけうち りゅういちろう
竹内 龍一郎 議員



☞詳しくは
こちら

エネルギーとごみ分別

環境エネルギー

問 小林市バイオマスセンターにある家畜排せつ物等を利用した発電施設は落雷で停止したままである。SDGsやカーボンニュートラル推進の観点からも必要と考えるが、再稼働の予定は。

答 畜産農家の離農や規模縮小により家畜排泄物の減少が見込まれること、また、センターの円滑な運営のため、他の施設についても一体的な修繕が必要であったこと、さらに食品系廃棄物の利用に関する仕組みの構築に時間を要していることなどから、再稼働できていない。今年度、小林市バイオマス活用推進計画等を改定予定である。先進的な技術や事例を参考にバイオマス資源の有効活用について、



りっしんかい
立新会
おがわ まこと
小川 真 議員



☞詳しくは
こちら



新体育館の建設工事始まる

調査研究を進めていく。

市民に寄り添う分別を

問 ごみ集積場の生ごみバケツは、大きな蓋で女性が開けにくい、虫の発生や匂いで早朝に出せないという声があるが、解決できないか。

答 全国では生ごみの排出方法は袋が主流だが、専用袋だと市民に経済的な負担が発生する。また堆肥化にも影響があることから、今後も改善に向け調査を行っていきたい。

その他の質問

■合併の経緯とその後

■自治体間格差について

■文化財について

すきむらんどの現状

問 管理体制は。

答 31名の従業員体制で管理している。また、温泉の井戸ポンプ等は、業者が3か月に1回、保守点検を行っている。

問 かじかの湯の状況は。

答 温泉のくみ上げができない状況。原因を調査し、復旧に向けて検討していく。

意 市民に親しまれる健康のまち小林の代表的な温泉施設。早期改修が須木地区の活性化になると考える。



バイオマスセンターの様子

小児かかりつけ医現状

母子保健及び小児医療

問 こども家庭センターは子育てや虐待、貧困、ヤングケアラーなどメールで相談であるが、その対応で良いか。週一回の時間外相談や月2回日曜日の窓口対応など、配慮が必要では。

答 こども家庭センターの相談時間は、市の就業時間内となっている。時間外は担当者に連絡が行く体制となっており、土日夜間も個別のケースを含め、対応できている。

問 小児救急患者搬送数は、17歳までの子供の令和5年搬送数は、えびの市、高円町を含み180人。医療機関の受入状況は、西諸管内が58%、管外が42%の状況。

問 小児かかりつけ医について家庭調査は行っているの



創生こばやし
原勝信 議員



コ
チ
ラ
く
は

令和7年度予算編成は

答 当初予算編成に当たっては、行財政の効率化と基盤強化を追求し、歳入に見合う財政構造への転換に向け、健全な財政運営の徹底に努め、創意と工夫を持ってあらゆる方策を探り、最小の経費で最大の効果を発揮できるようにする。

問 基本方針にある市民ニーズに即した効率的・効果的な事業とは何か。

答 市民のライフスタイルの多様化や少子高齢化の進展、物価高騰など、その時々々の社会情勢や市民にとって何が必要でどのような施策が求められているのかを把握した上で、市民のニーズに即した効果的かつ効果的な事業を選択し、財源をそこに集中していくということ。

問 シーリングをかけるか。



立新会
押領司 剛 議員



コ
チ
ラ
く
は

答 4年ぶりにマイナスシーリングをかけ、各部局において事業の内容や優先度などを精査する。

子ども支援

問 今後の不登校対策は。

答 校内における新たな学び場の設置や、ICTを活用した自宅におけるオンライン学習の体制を整えている。

意 学べる環境として、明るい広々とした場所、安心安全に学べる場所、先生たちが生き生きと子どもと向き合える環境、多様な学びの場を作ってもらいたい。



明るく広々とした場所で学習を

シーリングとは、予算編成における概算要求枠のことで、予算請求等（の増し分）を、これ以上高くしてはならないという限度のこと。



小児かかりつけ医を持ちましょう

指定管理施設の相談事



立新会
松嶺 勇一 議員



コ
チ
ラ
く
は

変化する社会情勢への対応

問 指定管理者から業務の見直し依頼や相談は。

答 昨今の物価高騰への対応や人員確保等の相談、また老朽化した施設の備品の修繕や更新の依頼があった。

問 基本協定書の業務実施に係る市の確認事項の欄に「モニタリングの実施と利用者満足度調査等を行う」となっているが、その効果は。

答 各所管課で定期的に指定管理者と確認や協議をしておき、要望等があった場合は、状況を十分聞き取った上で、個別に対応している。

問 ゆくばるのじりの宿泊施設の再開について、市民から強い要望があるが、見直しは。新しい取締役体制で議論



日本共産党
大迫 みどり 議員



コ
チ
ラ
く
は

課題多いマイナ保険証

問 健康保険証の廃止は国民皆保険制度の根幹を揺るがす大問題と思うが。

答 国の責任で不安の解消や理解を求めていくことが重要と考えている。

問 マイナ保険証の利用が進まない要因は。

答 通常の保険証がまだ使えるため、利用率が伸びていないと考える。

問 電子証明書の有効期限は5年。更新しないと無保険になるのでは。

答 失効後3か月はシステムを通じた資格確認ができる。その後は資格確認書を交付する。

問 マイナ保険証を持たない人への対応は。

答 現行の保険証の期限前に資格確認書を交付する。



資格確認書で今後も受診できる

問 保険証の廃止は撤回すべきと思うが。

答 色々問題点があると思うが、国がこの方針を進めている。窓口でしっかり対応する。

地域福祉と介護制度充実

問 高齢者が地域で暮らし続ける上での課題は。

答 日常生活における健康面・金銭管理面などの課題や不安を抱える世帯が多い。

問 介護認定者の実態は。

答 3割が老老介護の状況。訪問介護事業所における課題は。

問 ヘルパーの高齢化等で人員確保が困難であること。



住民が憩う場であり続けるために

地域公共交通

問 宮崎県地域公共交通計画を踏まえた、公共交通の利便性向上と維持確保の取組は。

答 宮崎県バス利用促進協議会に参加し、より効果的な利用促進策の協議を行っている。また、高齢者向け企画乗車券による利用促進、地域間幹線バス路線の見直し、交通と福祉の連携の調査研究に取り組んでいる。

意 多様性のある公共交通計画を。

学習障害への支援拡充

早期発見と支援強化を

問 読み書きを中心とした学習が困難な学習障害（LD）は、特に軽度の場合は見逃されやすい。幼少期における早期発見の具体的な取組は、

答 発達障害による困難を抱える子どもや成人は増加傾向と捉えており、早期発見、適切な療育支援につなぐことは重要。学習障害については、就学後に見つかることが多いが、就学前の幼児期では見つけにくい。

問 県の発達障害者支援センターへは、どのようにつないでいるのか。

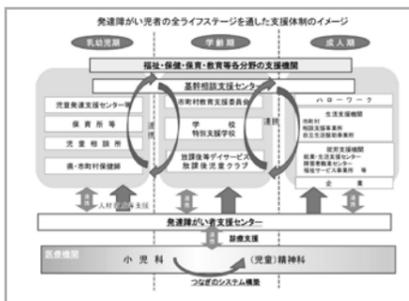
答 独自の特別支援教育アセスメントシートで確認し、校内での研修や保護者との面談を通して、関係機関等につな



しんせいかい
新生会
の
せまこと
能勢 誠 議員



コ詳
チラ
クは



切れ目のない支援体制構築

いっている。

問 学習障害のある子どもの多様な学びについての考えは、

答 書くことに困難のある生徒には、タブレットを利用したり、文書を読むことに困難のある児童には教職員が読み上げをするなど、丁寧な対応を行っている。

問 成人の方々への支援は、

答 LDに特化した支援や計画等はない。発達障害全般に對し支援が重要だと考えている。特に就労支援については、県と連携を図りながら、今後も支援を進めていく。

小林未来人材ビジョン

人材の育成と確保

問 これからの本市を担う人材の育成と確保は。また、どのような人材が求められるか。

答 これまで経験したことのない速度で社会が変化していく。新しい事を学ぼうとする意欲であったり、新しい知識や技術を身に付ける為の学び方を備えている人材が求められる。ICTを効果的に活用し、これからの時代に求められる力を育んでいく。

問 指導する教育者や教育環境の整備は、

答 「子どもたちの最大の教育環境は教師」。主体的に学び続ける教師への支援、子どもたちの多様な学びに必要なICT機器の整備を進める。

問 地域社会とのつながりで



りっしんかい
立新会
の
ほりけんじろう
堀 研二郎 議員



コ詳
チラ
クは

現在は「注意深さ・ミスがないこと」、「責任感・まじめさ」が重視されるが、
将来は「問題発見力」、「的確な予測」、「革新性」が一層求められる。

56の能力等に対する留意	
2015年	2050年
注意深さ・ミスがないこと	問題発見力
責任感・まじめさ	的確な予測
信頼感・誠実さ	革新性
基本技能（読み、書き、計算、等）	的確な決定
スピード	情報収集
柔軟性	意欲性
社会常識・マナー	ICTスキル（ITスキル）
粘り強さ	富強スキル（ITスキル）
継続スキル	科学・技術
問題解決力	柔軟性
...	...

必要とされる人材の育成と確保を

豊かな心を育むことも必要である。

答 子どもたちに夢や希望を持つてもらい、持続可能な小林の担い手になって欲しい。多様な市民と関わり、地域と共にある学校づくりを努める。

農業の担い手確保の戦略

問 新たに農業に従事する際の情報が少ない。長野県阿智村の取組を参考にしたい。

答 インパクトがあり理解しやすい。移住関連部署とも連携し、本市で農業を始めたい方への情報発信を進めたい。

語り継ぐ小林の歴史

シリーズ ③

島津豊久と堤地区の歴史

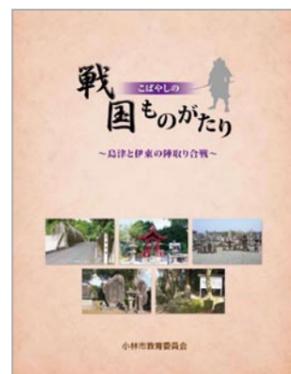


堤地区の関ヶ原記念碑

1600年の関ヶ原の戦いで、島津家の武将、島津豊久は勇敢に戦い命を落としました。この出来事によつて彼が治めていた領地は奪われ、家臣たちは住む場所を失いました。

その後、家臣たちは新たな生活の地として小林市堤地区に移り住むことになりました。

地図（文化財の場所）



（参考文献…こばやしの戦国ものがたり
島津と伊東の陣取り合戦）

取材・編集…能勢 誠／永野 雅己

堤地区は山に囲まれた自然豊かな場所でしたが、最初の生活はとても大変でした。それでも家臣たちは畑を作り、村を作り、仲間と協力しながら新しい暮らしを築いていきました。彼らの尽力は、地域の発展の土台となりました。

明治32年（1899年）、関ヶ原の戦いから300年を記念して、堤地区には「関ヶ原記念碑」が建てられました。この碑は三松公民館の近くにあり、地域の歴史を伝える大切な文化財です。他にも、戦争や皇室の出来事を記念した碑が立ち並び、地域の人々が先人たちの努力や功績を思い出す場所となっています。

歴史の教えは、未来をつくる力にもなります。堤地区の関ヶ原記念碑を訪れることで、家臣たちの苦勞や努力、そして歴史の大切さを感じることができます。

○議会への提言・疑問・質問などお寄せください。

○今回の「はなみずき」で関心のあることや感想があればお書きください。また、もっと読みたいような「アイデア」があればお寄せください。

松嶺 勇一 議員の
イチオシ!!



心を配るボランティア

小林市ボランティア連絡協議会には、12団体が加入されており、総勢610名の方が市民の皆さんに様々な形で心を配る活動をされています。今回はその中の「小林市朗読友の会」の皆さんにスポットを当てました。朗読友の会は昭和58年5月から活動を始め、現在、会員24名で広報こばやし、おしらせ、議会だよりの文字を音に訳して録音したCDを視覚障害者などに無償で配布されています。人前に出る機会があまりないことで、取組に対する思いを動画で撮影させていただきました。下のQRコードからご覧ください。



取材によって、音訳活動を通して一人でも多くの方に情報発信者の思いを正確に早く伝えるために、日々努力されていることが分かりました。「一緒にいる仲間の力と、聞いてくださる方からのお手紙のおかげで成長できる」と話された姿がとても素敵でした。



今回のイチオシ記事音訳の様子



会員の方々のコメント



講師と会長のコメント

◆次の3月定例会（予定）は

開会日…2月26日（水）
一般質問…2月28日（金）、
3月3日（月）、4日（火）、5日（水）
議案質疑…3月7日（金）、10日（月）
閉会日…3月24日（月）

◎突発的な事情等により変更となる場合があります。



◎定例会の「本会議」はライブ配信しています。インターネット検索またはQRコードからアクセスしてご覧ください。

小林市議会 動画配信 検索



編集後記

今回も委員会審査報告をはじめとした議会活動の状況を詳しく掲載しています。特集のこばカフェでは、地域の問題や要望など、数多くのご意見をいただきましたので、今後協議の経過等も報告していきたいと思えます。

本年も市民の皆さんが「見やすく 読みやすく 飽きのこない」広報紙づくりに努めていきます。次号もお楽しみに。

金松 勲

----- 切り取ってお出しくささい -----

料金受取人払

郵便はがき



886-8790

(受取人)

差出有効期間
令和7年7月24日まで
(切手を貼らずにお出しくささい)

小林市細野300番地

小林市役所 議会事務局
広報広聴委員会 行

(はなみずきNo.71 2024.12月議会号)



ふりがな
ご氏名 (イニシャルまたはペンネームでも可)

□□-□□□□

ご住所

お電話 ()-()-()